

# 「サイバーセキュリティ研究・技術開発取組方針」(案) に関する意見募集の結果の概要

- 実施方法：NISCのWebページ、内閣官房のWebページ、電子政府の総合窓口（e-Gov）に掲載して公募
- 実施期間：2019年4月26日（金）～2019年5月10日（金）
- 意見総数：5者から12件【内訳：2企業・団体から延べ4件、3個人等から延べ8件】

## 意見内容の内訳：

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| 1. 今後の取組に関する御意見 | 7 件 |
| 2. その他の御意見      | 5 件 |

注) 提出された御意見等を、事務局で理解した区分にて計上。

# 意見募集に対して寄せられたご意見の概要及びご意見に対する考え方

## 【参考とさせていただいた御意見の例】

御意見の概要	御意見に対する考え方
<p>＜今後の取組に関する御意見＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 日本にはサイバーセキュリティを目的にした団体が乱立しているため、それをまずまとめて、人員、組織、技術を一元化し優先順を決め推進することが必要。</li><li>• 単なる既存の延長のIT化による情報セキュリティを決めるだけでなく、真の生産性や働き方改革に結びつくものとしてほしい。</li><li>• サイバーセキュリティ研究を進める目的を明確にすることが重要。</li><li>• 技術検証体制の整備は、きわめて重要であり加速させるべきと考える。</li><li>• 技術検証体制の構築に際しては、国外との連携や利用も考慮に入れて、より効率的、網羅的、迅速な確認を行うように進めるべきと考える。</li><li>• 技術検証体制の整備における、「情報通信ネットワークにおけるサプライチェーンリスクの技術的検証」として、グローバルで広く活用されているCommon Criteriaによる第3者検証、および政府機関へのソースコード開示と合わせた、ドイツ方式の全ベンダ対象検証体制の構築を提案する。</li><li>• 技術的検証の開始時期は2020年度より前倒して実現することを提案する。</li></ul>	<p>「サイバーセキュリティ研究・技術開発取組方針」に従って具体的な個別施策を推進していきます。具体的な個別施策に関する御意見については、関係省庁にも共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>一部の記載については、主旨がより明確になるよう修正しました。</p> <p>また、技術検証体制の整備については、今年度から、検証スキームや評価基準の策定等に向けた検討を開始しており、政府一体となって推進体制の整備を進めてまいります。</p>